

あおぞら

行方市 社協だより

No. 70 2023.9.1

— 発行者 —
社会福祉法人
行方市社会福祉協議会

住所 茨城県行方市玉造甲478 番地1
☎ 0299 (36) 2020
FAX 0299 (55) 4545
URL <http://www.yokattanet.jp>



いただきます♡



ミュージックケアの様子



「黒ひげ危機一髪」
ドキドキするね……



マイホームの完成です



輪投げの様子

楽しく過ごした10日間

詳細は
P6

のびのびサポート

も く じ

- 令和4年度事業報告及び決算報告
下半期法律相談日程…………… 2～5
- 県障害者スポーツ大会報告
のびのびサポート実施報告
ビックリ・発見・夏キャンプ実施報告
…………… 6

- 成年後見制度について
地域包括支援センターについて
…………… 7
- 乗合タクシーについて
令和5年度共同募金運動について
善意銀行・つぶやき…………… 8

令和4年度 事業報告

「誰もが安心して暮らすことのできる地域」への実現に向けて住民の皆様、行政、関係機関と連携して地域福祉の推進に取り組んで参ります」

【会員数】

- ・一般会員 7,639世帯
- ・賛助会員 12世帯
- ・特別会員 77事業所

【善意銀行運営事業】

・市民の皆様の温かい善意の寄付金や物品をお預かりしています。寄付された金品は寄付者の意思に添った福祉事業等に使用させていただきます。（一般寄付金24件、物品等寄付25件）

【地域福祉事業】

●地域福祉事業

□給食サービス事業

在宅の高齢者等で食事作りが困難な方に、栄養のバランスを考えた食事をご自宅にお届けするとともに、声かけや安否の確認をしました。

麻生地区 月3回 水曜日実施
協力 麻生地区給食ボランティア
北浦地区 月3回 金曜日実施



協力 ボランティアグループさわやか
北浦地区食生活改善推進員
玉造地区 月3回 木曜日実施
協力 玉造地区給食ボランティア

□介護予防事業

・サロン活動支援
地域の身近な場所で気軽に集い、様々な活動を通して楽しみながら仲間づくり・居場所づくりを行いました。（4ヶ所 計64回）

延べ431人参加）

元気で〜さ〜びず館

高齢者のひきこもり予防及び健康作りを通じた交流を目的として実施しました。（6ヶ所 計138回 延べ1,052人参加）

□コミュニティ活動の支援

・生活支援体制整備事業
地域住民が主体となつて住民同士がお互いに助け合う体制づくりを推進します。（協議体の設立、第一層協議体・第二層協議体の開催）

●障害児（者）福祉事業

□ビックリ・発見・夏キャンプ

協同生活を体験し、社会で暮らしていくための知識等を学ぶことを目的として実施しました。（11名参加）

□のびのびサポート事業

長期休暇中の特別支援学校に通学している児童・生徒または特別支援学級を利用している児童・生徒のストレス軽減をはかるとともに、地域での生活の充実と交流を推進し、心身の発達と生活の豊かさを醸成することを目的として実施しました。（9回 延べ29名参加）

□親子ふれあい事業

同じ悩みをもつ家族同士の交

流や情報交換の場を提供しコミュニティづくりを推進しました。（2回延べ68名参加）

□障害者スポーツ大会事業

障害のある人もない人も共に障害者スポーツを楽しむ環境を整備し、障害者（児）への理解の促進と共生社会づくりを目指し実施しました。（計3回 延べ211人参加）

●母子・父子福祉事業

小・中学校入学の児童に対しお祝い品として体操服を贈呈させていただきました。（35件）

●地域福祉活動事業

□なめがたフードパントリー

新型コロナウイルス感染症の流行により、特に経済的に大変な世帯を応援するために食料を無償で提供し生活の不安を軽減することを目的に開催79世帯に配布しました。

●子育て支援事業

子育てサポーターと利用者の相互援助活動として保育所等の送迎や短時間の預かり等を実施しました。（サポート提供時間146時間）

●ボランティア活動の推進

□ボランティアセンター事業

ボランティア活動を希望され



る方と必要としている方の調整等を行いました。

□ボランティア分野別研修会の開催
地域福祉分野「地域の居場所づくり」

生活支援分野①「県内のフードパントリー実施状況」

生活支援分野②「食べるのが健康につながる」

高齢福祉分野「感染予防対策」

障害福祉分野「障害者スポーツ体験会」

シニア向けスマートフォン講座の開催（9回）

□福祉教育の推進
高齢者や障害者への理解促進のために学校で福祉体験学習をしました。（麻生東小学校4年生40人に対し、インスタントシニア体験実施）

●共同募金運動

10月1日より全国一斉に赤い羽根共同募金運動が実施され、行方市でも戸別募金・学校等募金・イベント募金・職域募金を実施しました。（募金総額4,249,561円）

災害義援金（総額2,324円）

●歳末たすけあい運動

市内全域において、高齢者世帯・障害者世帯の方々を対象に、シルバー人材センター等の皆様の協力を得て家事援助サービスを実施しました。（除草等35件 障子張り55件 網戸張替44件 窓掃除32件 廃棄物処理58件）

【相談支援事業】

●法律相談事業

弁護士による無料法律相談を実施しました。（毎月1回 相談件数58件）

●日常生活自立支援事業

自分ひとりで金銭の管理や支払い等が困難な方に対して、福祉サービスの利用援助、代行、利用料の支払いなどを実施しました。（相談件数31件 利用者数6名）

【資金貸付事業】

●生活福祉資金貸付事業

（次城県社会福祉協議会より事務委託）



●福祉車両貸出事業

・低所得者や高齢者、障害者の生活を経済的に支えるとともに、在宅福祉及び社会参加の促進を図る目的で実施しました。（相談件数43件）

・新型コロナウイルス感染症の影響による生活福祉資金の特例貸（緊急小口資金18件 総合支援資金18件）

【在宅生活支援事業】

●福祉機器貸出事業

疾病やケガ、障害者及び高齢者の方などで一時的に車いす等の福祉機器が必要となった方に貸出をしました。（55件）

●訪問歯科治療機器貸出事業

歯科医への訪問治療機器の貸出を行いました。（4件）

●在宅福祉サービスセンター事業

高齢者や障害者（児）に対しボランティアの協力を得て、日常生活における援助等を実施しました。（利用件数 述べ1,574件 利用時間 延べ2993.5時間）

●在宅言語等リハビリアドバイス事業

病気やけがにより言葉によるコミュニケーション能力の低下した方に対して、能力回復を目的として言語聴覚士による訪問指導を実施しました。（利用人数28人）

【広報啓発事業】

●社協だより「あおぞら」の発行（6、9、12、3月）

●ホームページ・x（旧Twitter）による情報発信及び管理運営

【介護保険事業】

●居宅介護支援事業

指定居宅介護支援事業所の運営を行い、介護支援専門員（ケアマネ

ジャー)によるケアプランの作成、利用者のサービス提供相談、訪問助言指導、介護保険認定調査を実施しました。(プラン作成数 介護延べ1,460件 予防延べ146件 第一号介護予防93件 介護保険認定調査 68件)

医療機関及び福祉施設等を退院・退所後の在宅生活の相談支援を行いました。(62件)

●訪問介護事業

指定訪問介護事業所の運営を行い、要介護の方にホームヘルパーの派遣、サービス内容の相談を実施しました。(利用者数 延べ10,371人 派遣時間 延べ10,140時間29分)

●第一号訪問介護事業

事業対象者、要支援の方にホームヘルパーの派遣、サービス内容の相談を実施しました。(利用者数 延べ1,913人 派遣時間延べ1,908時間10分)

●地域包括支援センター事業(麻生)

心身の健康の保持及び生活の安定の必要な援助を行いました。(訪問相談件数 688件 プラン作成数 介護予防365件 第一号介護予防205件 介護保険認定調査8件 新規相談118件)

【障害者福祉サービス事業】

●居宅介護

指定訪問介護事業所総合支援法の運営を行い、障害者(身体・知的・精神)への身体介護・家事援助サービスを実施しました。(利用者数延べ4,787人 派遣時間4,109時間19分)



●同行援護

視覚障害により移動に著しい困難を有する方が外出する際、本人に同行し、移動に必要な情報の提供(代筆・代読を含む)移動の援護等の外出支援を行いました。利用者数延べ2人 派遣時間延べ8時間55分)

●計画相談支援

指定特定相談支援事業所の運営を行い、相談支援専門員によるサービス等利用計画の作成、関係機関との連絡調整、障害支援区分認定

調査を実施しました。(利用者数 障害者80人 児童36人 障害支援区分認定調査29件)

【地域生活支援事業】

●ドリームハウス管理運営事業

(就労継続支援B型・地域活動支援センター)

障害のある方に対し、働く場所と創作活動の機会を提供し、知識・能力向上のための支援を実施しました。(月々金 9時30分～15時 作業内容 公園清掃及び除草作業、内職作業、生活訓練、創作活動等)(利用者 行方市15人 銚田市1人 小美玉市1人 稲敷市1人)



【その他社会福祉関連事業】

●新公共交通システム事業

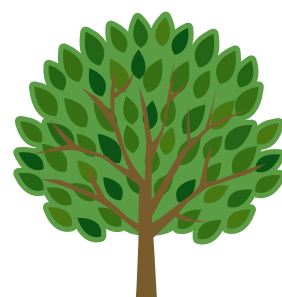
利用者の予約により目的地まで乗合で送迎するタクシー(デマンド型乗合タクシー)の運行を実施しました。(利用者登録数 4,756人 利用者数 延べ9,192人)

●福祉バス管理運営事業

住民の福祉向上・増進のための事業に必要な移動の円滑化を図るために運行しました。(1号車稼働日数59日 延べ1,162人 2号車 稼働日数51日 延べ1,035人)

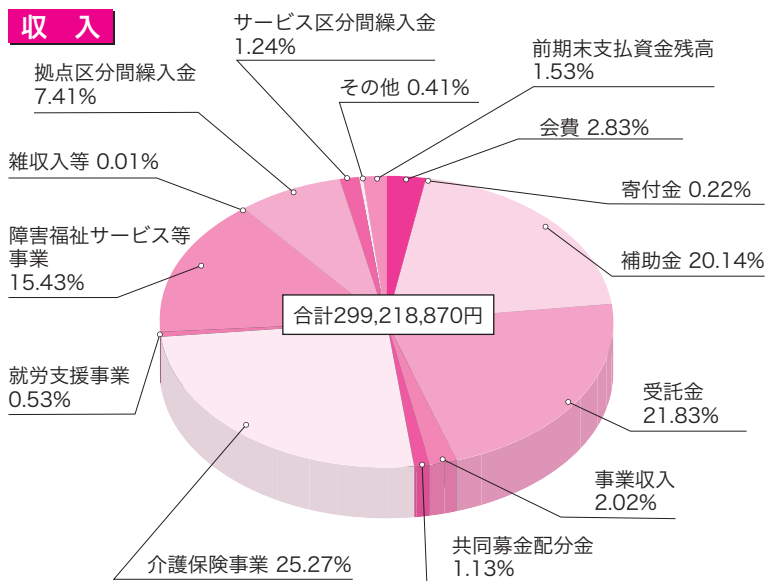
【当事者団体支援事業】

行方市いきいきクラブ連合会
行方市ボランティア連絡協議会
行方市身体障害者福祉協議会
行方市遺族会
の運営支援を行いました。

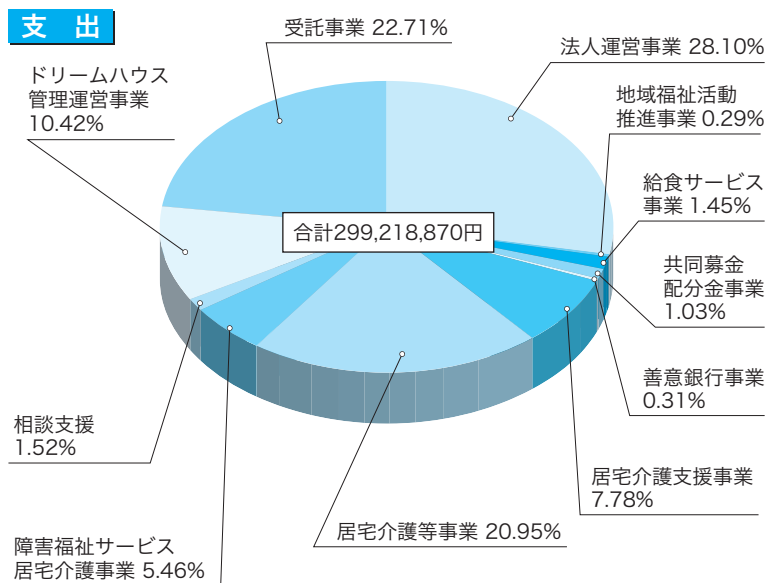


令和4年度 決算報告

(単位：円)



会費収入	8,465,000
寄付金収入	655,107
補助金収入	60,267,166
受託金収入	65,326,367
事業収入	6,040,222
共同募金配分金収入	3,393,791
介護保険事業収入	75,605,840
就労支援事業収入	1,573,759
障害福祉サービス等事業収入	46,159,616
雑収入等	17,674
拠点区分間繰入金収入	22,184,937
サービス区分間繰入金収入	3,723,000
その他の活動による収入	1,236,760
前期末支払資金残高	4,569,631
合計	299,218,870



法人運営事業	84,081,082
地域福祉活動推進事業	859,178
給食サービス事業	4,333,007
共同募金配分金事業	3,071,441
善意銀行事業	929,864
居宅介護支援事業	23,270,396
居宅介護等事業	62,677,419
障害福祉サービス居宅介護事業	16,322,554
相談支援	4,554,480
ドリームハウス管理運営事業	31,165,858
受託事業	67,953,591
合計	299,218,870

法律相談会のお知らせ

弁護士による無料相談を毎月1回実施しています。一人で悩まずにまずは相談会にお出かけください。下半期の日程をお知らせいたします。

■会 場 行方市地域包括支援センター(行方市玉造甲478番地1)

■申込先 0299-36-2020

■開催日 令和5年 9月4日(月) 10月2日(月) 11月13日(月) 12月4日(月)
令和6年 1月15日(月) 2月5日(月) 3月4日(月)



令和5年度 茨城県障害者スポーツ大会開催

5月28日（日）に水戸信用金庫スタジアムにおいて、令和5年度茨城県障害者スポーツ大会が開催されました。本大会は陸上競技、水泳、アーチェリー、卓球、サウンドテーブルテニス、フライングディスクと様々な種類の競技が用意されており、チャレンジしたい競技を選ぶことが出来ます。また、全国障害者スポーツ大会につながる本格的なスポーツ大会となっているので、参加者の皆さんも気合十分で競技に望み、行方市からは横瀬悠平さんが100 m競走に参加してライバル達と熱い走りを繰り広げました。



大会当日は選手の皆さんの努力に応えるように天候にも恵まれて、思いっきり体を動かしてスポーツ大会を楽しむことが出来ました。選手の皆さん、お疲れ様でした。



たくさんの思い出ができたよ



のびのびサポート事業を実施

夏休み期間中の10日間、市内在住の特別支援学校・学級の児童・生徒を対象にのびのびサポート事業を実施しました。みんなで外出したり、レクリエーション（輪投げやミュージックケアー等）、をしながら一日を楽しく過ごすことが出来ました。来年度の参加もぜひお待ちしております！



ロウソクを作ったよ～



夏の思い出 ビックリ・発見・夏キャンプ



8月1日（火）から2日（水）にかけてレイクエコーと白浜少年自然の家において、自立・体験を通じて社会へ飛び出す第一歩を目的としたサマーキャンプを開催しました。当日は43名の方が参加し、レクリエーションを中心としたプログラムを行いました。



成年後見 制度

ってなあに??

知的障害・精神障害・認知症などによってひとりで決めることに不安や心配のある人がいろいろな契約や手続きをするときにお手伝いをする制度です。

こんな時、成年後見人などがお手伝いします。

母親に認知症の傾向が。離れて暮らしているので訪問販売など悪質商法に狙われたらと心配……



最近お金の管理に自信がなくなってきました。財産の管理を安心して任せられる人がいたら、と思うのですが……

ひとり暮らしなので、将来、認知症など病気になったときのことが不安です

制度を使うには地域の相談窓口へ 社会福祉協議会、地域包括支援センター、市の相談窓口など

地域包括支援センター

介護予防に取り組みましょう

介護予防・日常生活支援総合事業の利用を支援します。市区町村では、65歳以上の人を対象とした「介護予防・日常生活支援総合事業」を行っています。この事業では介護保険の要介護（要支援）認定をうけていなくても、一人ひとりの生活に合わせた柔軟な介護予防のためのサービスを利用することができます。いつまでも自分らしく暮らすためにも「介護予防・日常生活支援総合事業」を利用して自立した生活をつづけましょう。利用については地域包括支援センターにご相談ください。

～介護の体験などみんなでお話ししませんか？～

ご家庭で介護をされている方や介護の経験がある方が集まり、自由に話していただく語らいの場を開催しています。実際に介護をした体験などをみんなで共有し、情報交換をしませんか。介護に関する相談も受け付けています。

介護経験のある方・これから備えたい方・どなたでも自由参加ですので、ぜひご参加ください！

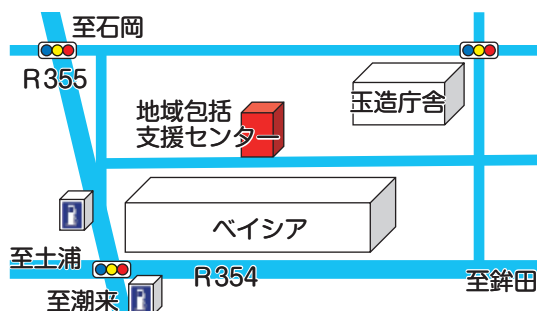
○開催場所：天王崎観光交流センター「コテラス」2階多目的室

○開催日：9/4（月）、10/2（月）、11/6（月）、12/4（月）

○時間：午後1時30分～3時00分

○申し込み・お問い合わせ：地域包括支援センター

☎0299-55-0114



行方市地域包括支援センター
行方市玉造甲478番地1

0299-55-0114

行方市善意銀行

令和5年5月1日から令和5年7月30日までに善意をおよせいただいた方々をご紹介します。皆様からの善意は行方市のさまざまな福祉活動に使わせていただいております。

皆様からの温かいご寄付に心より感謝申し上げます。

皆様からの寄付金・預託金（順不同・敬称略）

寄付金

預託者名	金額(円)	指定先
キタウラアマチュア マジシャンクラブ	38,130	無指定
絆結会	70,375	無指定
麻生中第12回卒業生一同	47,777	無指定
野原大輝	1,000	無指定
麻生地区カラオケ連合会	55,000	無指定
匿名	6,630	無指定
匿名	50,000	無指定
匿名	12,342	無指定

物品寄付

預託者名	預託品	指定先
永作タカ子	タオル	無指定
匿名	米4俵	無指定
匿名	米11俵	無指定
匿名	ガス釜	福祉一般

▶ 絆結会



つづき

来年の大河ドラマ「光る君へ」の主人公は紫式部。今から千年も前、時の権力者藤原道長の支援の下、宮仕えをしながら五十四帖からなる長編小説、日本が世界に誇れる最古の物語「源氏物語」を執筆した女流作家、平安時代、雅な貴族社会を背景に紫式部の人生がどのように描かれるのか今からとても楽しみです。若い時分、もっと古典文学に親しんでいたらと後悔もありますが、今年の秋は、紫式部に思いを馳せながら「源氏物語」を（須磨までは読み終えてる）読み進めてみようかと思います。 宮内和子

広報委員

委員長	理崎 道子	委員	磯山 正子
副委員長	松澤久美子		横田 照実
委員	金井 裕子		加藤たか子
	熊谷 一男		宮内 和子
	大原 孝		阿部 幸一



令和5年度 共同募金運動

◇ 赤い羽根共同募金運動 ◇

（10月1日～12月31日）

令和5年10月1日から、赤い羽根共同募金運動が全国一斉に始まります。各地区における戸別募金を始め、皆様からお寄せいただいた募金は、市内の地域福祉活動に役立てさせていただきます。

◇ 歳末たすけあい募金運動 ◇

（12月1日～12月31日）

歳末たすけあい募金運動は、市内に在住する支援を必要としている方々へ新たな年を迎える時期に、家事援助等のサービスを実施しています。



◇ 寄付つき赤い羽根 自動販売機設置のご提案 ◇

自動販売機で気軽にできる
「社会貢献活動」始めませんか??

設置者
募集中

寄付つき赤い羽根自動販売機とは、ドリンクが購入されるたびに、一定額（または一定割合）が赤い羽根共同募金に寄付される自販機です。自販機を設置する人、飲料メーカー、購入者の誰もが寄付者となる新しい寄付のかたちです。

行方市内で寄付付き赤い羽根自動販売機を設置頂ける事業者様を募集中です。詳細は行方市共同募金委員会までお問い合わせください。



お問
合わせ先

茨城県共同募金会 行方市共同募金委員会
社会福祉法人行方市社会福祉協議会内
TEL：0299（36）2020

おしらせ 乗合タクシーについて

乗合タクシー窓口対応が、令和5年10月1日より行方市事業推進課に変更となりますのでお知らせいたします。



予約・利用については、今まで通り変更はありませんので安心してご利用ください。

利用登録については各庁舎にて受付いたします。

予約センター番号 0299-36-2228

お問合せ 行方市役所事業推進課
0299-72-0811